

# 総務文教常任委員会

日時：令和4年5月10日（火）

午後1時30分

場所：議場

## 1 開 会

## 2 挨拶

## 3 所管事務調査

《企画部》

- ・報告事項 当別町庁舎建設基本構想（素案）について  
（新庁舎建設検討委員会・パブリックコメント報告）・・・資料1

## 4 付託案件審査

■令和4年第1回当別町議会定例会付託

○町立当別小学校「跡」の利活用に関する陳情書

【陳情団体】

特定非営利活動法人ゆめの種子トープ

理事長 堀江 三千代

○当別町新庁舎に関する陳情書

【陳情団体】

太美地域活性化プロジェクト

コアメンバー・発起人 岡田 隆範

コアメンバー 石田 洋三

コアメンバー 大塚 初雄

## 5 その他

## 6 閉 会

提出日 令和4年5月10日

資料提出先(要求元(者)) 総務文教常任委員会	担当部：企画部 担当者：事業推進課長 ■■■■■
資料名 総務文教常任委員会提出資料	

## 総務文教常任委員会提出資料

### 目次

#### 【報告事項】

- ・当別町庁舎建設基本構想（素案）について（新庁舎建設検討委員会・パブリックコメント報告）  
・・・資料1（1～6P）

**第一回新庁舎建設検討委員会（R4.2.24開催） 会議概要**

- ・ 出欠 出席7名 欠席3名
- ・ 委員長に高橋委員、副委員長に和田委員選出
- ・ 事務局より説明 検討委員会の位置づけ、基本構想（素案）、今後のスケジュールについて説明
- ・ 以下、質疑応答

No.	質問・意見	町の考え
1	完成予定は計画に入っていないのか。	具体的な内容が決まらなければ、今後の予定を決めることができないため入れていない
2	建設地は4か所の中から決めるのか。	早期に安価で建設できることを重要視すると町有地となり、一定程度の面積を持つのが3か所ある。今後条件にあう場所が出てきた場合は候補地として検討する。
3	複合化が前提なのか、その協議はいつか。	以前から図書館、文化センターが欲しいという要望があったことや、公共施設の効率性を考えて、まずは庁舎建替えの検討にあたり複合化として提案している。
4	複合化により規模が大きくなることと、庁舎と図書館、文化センターは利用目的が違うのではないか。	複合化にすると規模は大きくなり費用や時間がかかることもあるので、意見を伺い進めていきたい。
5	図書館、文化センターの面積が小さく、ニーズが満たせない可能性がある。庁舎とは別に考えた方がよいのでは。	面積は決まったものではなく、複合施設についても意見を伺ってこれから決めていく。
6	従来方式とリース方式で進めるのか。また、リースの場合、参加業者はあるのか。	PFIは建設スピードが遅く、また、事業者へのヒアリングから事業参加は難しいと回答を得ている。リース方式は、複数の事業者がある。
7	議会機能を文化センター等の他機能との併用も検討すべき。	議場を多目的に使用するの最近の庁舎建設の効率化の手法の一つである。
8	庁舎建設自体への補助金はあるか。 また、リース方式の場合は補助金はあるか。	庁舎建設への補助金は無いが、町民交流スペースを複合化する場合、その部分が補助の対象となる場合がある。リース方式は、官民共同で建設する動きに対する補助などがある。

- ・ その他として、委員から居心地の良い施設などについて情報交換

主な意見

- 町内 道の駅、郵便局、西当小のときめきルーム、西コミセンやゆとりの会議室 など
- 町外 石狩市図書館、札幌創生スクエア、当麻町庁舎、高知県梶原町小学校 など

## 当別町庁舎建設基本構想（素案）パブリックコメントにおける提出意見

### 1 パブリックコメントの実施概要

- ・ 実施期間 令和4年3月1日（火）から3月31日（木）
- ・ 公表場所 (1)当別町役場 (2)当別町総合保健福祉センター (3)当別町総合体育館  
(4)当別町太美出張所 (5)西当別コミュニティセンター  
(6)当別町ホームページ
- ・ 提出意見
  - (1) 意見提出者数 11人
  - (2) 提出意見数 24件
  - (3) 提出方法
    - ① 意見箱投函 5人
    - ② 電子メール 6人
  - (4) 意見の内容
    - ① 白樺公園用地について 5件
    - ② 現庁舎用地について 4件
    - ③ JA北いしかり用地について 4件
    - ④ 複合化について 2件
    - ⑤ 財源等について 5件
    - ⑥ 基本方針・基本理念等について 4件

### 2 意見概要

別紙のとおり

## 意見概要

<p>①白樺公園用地について</p> <p>【要約】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白樺公園に庁舎を建てることは反対</li> <li>・利用者を増やせる可能性のある公園を潰さないでほしい</li> <li>・子どもたちものびのびできる白樺公園の緑を生かしてほしい</li> <li>・庁舎建設により、自然豊かな景観が失われてしまう</li> </ul>	
No.	意見・理由
1	<p>現庁舎用地案に賛成。白樺公園の緑を潰して役場を建てるのは大問題です。当別駅前顔として整備して機能させてほしい。自然豊かなことをウリにしている街なのに駅前に緑豊かな公園を整備する気はないのですか？子供を遊ばせることができる、体育館と隣接している環境という意味で、利用者を増やせる可能性がある白樺公園を潰す、移転させるはありえません。</p> <p>町が待ったナンで取り組むべき課題は若い世代の移住で、この町の魅力は「札幌に近い上に自然豊かな環境で生活できること」です。駅前の緑を潰すというのは誰が得する話なのでしょう。</p> <p>町内からの利用なのに駅チカなメリットはありません。現庁舎用地に建て、公園は整備を求めます。</p>
2	<p>白樺公園に新庁舎を建てることに反対です。なぜ町民の憩いの場を潰そうとするのでしょうか。いろんな年代の方達がスポーツや散歩などで利用しており、また、駅前なのに野生動物を見られる公園です。現在検討中の風力発電の件といい、今後の当別町は自然を壊していく方針を取っていくのですか。厳しい意見になりますが、町職員の方たちにとって「都合がいい」、白樺公園が候補に挙がったのだろうという印象を受けました。</p> <p>町の活性化を期待するならば、時間と予算がかかるとしても南口のJA北いしかり案にすべきで、また、近い将来に解体しなければならぬ現庁舎や当別小の跡地に建てるのが自然の流れですが、どうして白樺公園が最有力候補になるのか、疑問と違和感しかありません。</p>
3	<p>子どもたちに広い遊び場を残してあげたいため、白樺公園に新庁舎を建てないでください。</p>
4	<p>白樺の隣接地に住んでいます。役場庁舎の建て替えには賛成ですが、白樺公園には建てないでください。近所の友人たちも同じ気持ちです。白樺公園は近隣の園児や住民、町外からの住民も集い、コロナ禍のなかでも伸び伸びと過ごせる貴重な空間です。私たちもこの景観に魅力を感じて当別町への移住を決めましたが、この景観がなくなってしまうことや、周辺の交通量や人通りが増える安全面が不安です。「町民生活の安全・安心を支える」という、基本理念にも反するのではないのでしょうか。</p>
5	<p>白樺公園に建設すると交通手段は一番便利で面積も十分にあるが、公園がなくなるため代替地があるのか。</p>
<p>②現庁舎用地について</p> <p>【要約】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設費用、建設に要する時間から現庁舎用地がよい</li> <li>・現庁舎用地だと踏切が近くにあり南北の往来がしやすく高齢者が利用しやすい</li> <li>・庁舎は慣れている場所がよく、現敷地のJR側に建て替えればよい</li> </ul>	
No.	意見・理由
6	<p>新たに整備する費用の面、スピード感で私は新庁舎は現庁舎用地に建てるべきと考えます。駅を出たら自然豊かな表情のある公園は当別町の魅力のひとつです。現庁舎用地案は北の住宅街側にありながら商店街との行き来がしやすく、まちづくりに寄与する庁舎という点で優れていると思います。</p> <p>小学校用地は2つの川に挟まれており災害拠点と避難経路の確保の面で困難が想定されます。残りの白樺公園は浸水の面では優位と言いますが現庁舎役場で基礎を50センチ高くすることで白樺公園と想定深水区で変わりません。</p> <p>改めて以上の点からJA、小学校、白樺公園の各用地に反対。現庁舎一択で推進して頂けたらと思います。</p>
7	<p>現役場に建設する。皆様はいつも慣れている所が良い。但し古い建物を壊してから新しい役場を建設すると時間がかかるので、向かい側のJR側の駐車場を利用して建設する。臨時駐車場は白樺公園に設置する。</p>

8	<p>そもそも役場を利用するのは職員ではない。(町外の職員が多いから、白樺公園案の票が多いのではないかと見てしまう)</p> <p>高齢者が南北を分断する鉄道を横断するのは多大な負担となる。現庁舎用地は踏切に挟まれており、南北の往来がしやすい。駅コンコースはエレベータもあるが上下の動きはおっくうである。</p> <p>役場内アンケート結果で白樺公園を推す声が多いのにはガッカリする。自分達が楽をしたいだけでは、もっと真剣に町民、高齢者のことを考えた職員であってほしい</p>
9	<p>建設に要する時間、費用も最も安価な『現庁舎用地』に新庁舎を建設すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事期間中の臨時駐車場は旧当別小学校を利用すべき</li> <li>・ 安全確保も距離を保つルートを設定すれば問題ない</li> <li>・ 浸水被害を考慮するのは大事だが、ダムには洪水調節流水の機能がある</li> </ul> <p>ダム建設の負担を町民に強いており、これ以上町民の負担を増やさないようにすべき。</p> <p>つまり現在の白樺公園を潰し、新たに公園を作るなど税金の無駄使いの何物でもない。現庁舎用地で、1階部分をピロティ(駐車場)にしたら浸水も最小限で抑えられるのではないか。</p> <p>緊急避難所との位置関係でも旧小学校の体育館も利用すると考えたとき総合体育館との間に位置する現庁舎用地がバランスが良い。</p>
<p><b>③JA北いしかり用地について</b></p> <p><b>【要約】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちの活性化からJA北いしかり用地がよい</li> <li>・ 交通アクセスや利便性が高い</li> <li>・ JA北いしかり用地は土地の取得に時間がかかる。</li> </ul>	
No.	意見・理由
10	<p>4つの候補地の中では、④JA北いしかりさんの場所が最適だと思います。利便性やアクセスが抜群に良いため、今よりも多くの住民が訪れやすくなります。事業費についてはJAさん話し合い次第で大きく下がり、評価が上がる可能性があるのではないのでしょうか。再開発事業に該当するのであれば町にとってもメリットが大きいと思います。</p> <p>その点でも白樺公園への建設は、公園をつぶして別の公園を整備することになり無駄な費用に感じますし、維持管理費ほどの候補地が一番安価になるのでしょうか。</p> <p>JAさんと手を取り合うことで、事業費の低減に加えて地域経済の活性化につなげてほしいです。稚拙な判断はせず、住民の立場に立って検討を進めてほしいと思います。</p>
11	<p>JA当別町農業会館跡地(案)は、交通手段は白樺公園より便利であるが、土地の取用等建設に時間がかかるため、現実でないと思います。</p>
12	<p>JAと統合されると車で行きやすく便利なため、JAいしかりに建ててください。(現庁舎と当別小学校はちゃんと更地にして活用してください。)</p>
13	<p>大正3~9年から商売を始めている。</p> <p>商店街の活性化のため、駅の南側の小学校もしくは農協の場所が望ましい。</p>
<p><b>④複合化について</b></p> <p><b>【要約】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館、文化センター機能を庁舎に複合化するのは反対</li> <li>・ 複合化により規模、機能などがニーズに合わない可能性がある</li> <li>・ 町民交流スペースは庁舎に必要ない。当別小学校跡にその機能を設置してほしい</li> </ul>	
No.	意見・理由
14	<p>「町民交流スペース」は庁舎に必要ではありません。単に「賑わい」を求めめるためですか。町民が文化的交流をするためのスペースならば、4月から使われなくなる当別町立小学校跡に、その機能を設置してください。庁舎併設となると、土曜、日曜、祝日が使えなくなり、町民にとって不便です。いまの「おひさま」が良い例です。</p>
15	<p>複合化可能な施設として、図書館及び文化センターの庁舎複合化は反対です。</p> <p>複合化することにより、図書館、文化センターは「添え物」と扱われ、面積が狭くなり、期待される機能は果たされなくなります。長年購入した図書、収集した歴史文書などを保管しておく書庫も必要です。それらを耐震化工事をした当別町立小学校跡の教室を使ってください。</p>

<p>⑤財源等について</p> <p>【要約】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎検討にあたり財源の確保は前提となるので項目を追加</li> <li>・新庁舎建設を取り巻く環境を見極める戦略の追加</li> </ul>	
No	意見・理由
16	<p>財源の確保が前提になるため、本文中に太字部分を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ p.12 本文 8 行目</li> <li>1-4. 庁舎立て替え事業に伴う検討事項</li> <li>…基本理念・方針、<b>事業財源</b>、適正な庁舎機能…</li> <li>・ p.12 図-1</li> <li>基本計画の検討事項の 2 段目に追加</li> <li><b>事業財源の検討</b></li> </ul>
17	<p>事業資金の困難な状況下、民間の資金調達力、事業ノウハウの全面的な財源確保は有効な救済策の手法となり得ること、民間事業者とのパイプ強化により今後事業化が予想される町営住宅、西当別地域一貫校などの事業に加え、地域再開発の対応力強化が期待されることより、p.55 5. 建設事業手法の検討の次に次の文を追加</p> <p><b>5-1. 新庁舎建設の事業財源</b></p> <p>財源負担の軽減や平準化などを目的に、PRE（公的不動産）と民間企業の事業ノウハウを活用し、官民が連携した下記方策による財源確保を目指す。</p> <p>①当別町：土地の所有者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共部分の借用、運営</li> <li>・ 建物所有者との建物、土地の賃貸借契約</li> </ul> <p>②民間事業者：建物の所有者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物整備、資金調達（金融機関融資等）の対応</li> <li>・ 当別町との建物、土地の賃貸借契約</li> <li>・ 建物整備の維持管理、運営支援</li> </ul> <p>③一般のテナント（商業施設など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物所有者との建物賃貸尺契約</li> </ul> <p>5-2. 建物事業手法の種類</p>
18	<p>新庁舎の確たる戦略が必要なことや財源の確保が前提になることより、p.58 リード文 2 行目に太字部分を追加</p> <p>6. 今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>…を含めた<b>事業戦略</b>、<b>事業財源</b>、<b>事業手法</b>の…</li> </ul>
19	<p>新庁舎建設を取り巻く環境を見極めと戦略を練る期間、財源確保に取り組む一定期間が必要なこと、町民に対する一層高い必要性やメリットを感じられる風潮の高まりが必要なことより、P.58 (1) 検討事項 リード文 1 行目に①、②の追加</p> <p>(1) 基本計画での検討事項</p> <p>基本計画においては、<b>事業戦略の検討</b>、<b>財源確保</b>に取り組む一定期間を経て、建設場所を設定し…</p> <p>①<b>事業戦略</b></p> <p>下記の要件の動向を見極め、長期展望の戦略を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期展望の視点による持続可能な仕組みづくり</li> <li>・ デジタル田園都市構想の具体的な機能</li> </ul> <p>財政状況、ロイズタウン駅・新興団地の波及効果、当別学園、企業や医療大学連携との連携、さっぽろ連携中枢都市圏、アフターコロナ、ウクライナ情勢、SDGs など状況</p> <p>②<b>事業財源</b></p> <p>財政負担の軽減、平準化を目的に RPE（公的不動産）や民間企業の事業ノウハウを活用による財源の確保に取り組む。</p> <p>③<b>新庁舎の建物規模</b></p> <p>※新庁舎の完成時期の延伸に伴い、現庁舎の老朽化対応の必要性が生じる可能性がある。その対策案として、以下の建屋を一定期間中分の庁舎化を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館を含む旧当別小学校舎の活用</li> <li>・ 総合体育館、ゆとろ、白樺コミセン、世紀会館の一部を流用</li> </ul>
20	<p>ウクライナ情勢による世界経済の影響が深刻で長期化の様相にあるため、p.64 図-11 庁舎を取り巻く時代潮流の項下記内容に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>… 新型コロナ、ウクライナ情勢による社会…</li> </ul>

⑥基本方針・基本理念等について

【要約】

- ・将来の社会情勢の変化に対応すべく、今は耐震工事で15年間の長寿命化をすべき
- ・デジタル化の視点が欠如しているのは
- ・「当別町のイメージの確立」に庁舎の新しさは関係ない

No.	意見・理由
21	<p>新庁舎建設に50～70億円をかけ50年耐用（年間1億数千万円）を考えれば、現庁舎の耐震工事・大規模改修工事に10億円かけて15年間長寿命化（年間7千万円弱）をすべき。その15年間に社会は大きく変化し、役場庁舎に求められる要件も大幅に変化する。そこで新庁舎建設を考えても遅くはない。また「職務執行中の工事が困難」とあるが、建て替える札幌中央区役所でさえ現在、仮庁舎で業務を行っている。当別でそれができない訳がない。</p> <p>現庁舎はこれまで、いかにメンテナンスを怠ってきたか、庁舎維持に予算投入をしていなかったかを如実に示している（1～4頁）。47年という年限は法定耐用年数であり、メンテナンス次第ではまだまだ利用に供することができる。</p>
22	<p>庁舎新築建設は反対です。ここに書かれてあるように、10億円で耐震化工事をして15年間持たせてください。その15年間に、当別町がどれだけ変わるかを見守ることが必要です。日本創生会議は2040年に当別の人口は11000人と予測しています。</p>
23	<p>「取り巻く時代潮流」「基本理念」において、日本社会全体で進行している（デジタル化の深化）の視点が欠如している。これを考えるなら、役場庁舎のイメージはこれまでの発想とは全く異なるものでなければならない。つまり、自ずとコンパクト化する役場とならざるを得ない。そういったことを大規模改修後の庁舎において、今後15年間で考え、「形」にすべき。</p> <p>現町長はさかんにデジタル都市を目指すとして施策に反映させようとしているが、仮にそれを有効とするならば庁舎の持つ意義は変わる筈である。</p>
24	<p>「町民の生活利便性の向上」として交流スペース確保を挙げているが、それを新庁舎に頼るのではなく、廃校になる当別小学校を利活用すべきである。</p> <p>役場庁舎が新しかろうが古かろうが「当別町のイメージの確立」には関係ない。ただ単なるこじつけである。当別小学校跡の利活用こそが新たな町民の交流に役立つのであり、それを活用しないのは大きな損失である。</p>



議 長	事務局長	事務局長	係長・主査	係
[Redacted]				

令和4年2月8日

当別町議会議長 高谷 茂 様

2月8日15時00分	
対応者	事務局

町立当別小学校「跡」の利活用に関する陳情書



陳情者

住所 石狩郡当別町樺戸町 106-21

氏名 特定非営利活動法人ゆめの種子トープ

理事長 堀江 三千



陳情趣旨

本町地区の子どもたちの教育の場として、また中心街の公共施設として長く町民に親しまれてきた当別小学校は、今年4月の小中一貫学校の開校により、廃校になってしまいました。

私たちは廃校となる小学校を敷地も含め、「生涯学習施設」として幅広い町民の教育活動に活用するとともに、公共的なスペースとしてこれを再利用していくことがもっとも望ましいと考えます。またこういったことは、町財政における経費の節減や、環境への配慮にもつながるものと確信します。

学校跡というしっかりとした建物や大きな敷地を壊さず転用・転売せず、将来にわたり教育目的に利活用することは、今後、どれほど多くの町民の未来に貢献するか計り知れないと考えます。まさに、かけがえのない「宝」です。

社会的なインフラがきわめて貧困な当別町の現況を打開するために小学校跡の利活用について、以下のとおり陳情するとともに、町民間において十分な「議論する場」の設置も併せて陳情します。

陳情事項

- 1 図書館や総合博物館、児童館、体育館などの機能を兼ね備えた生涯学習施設として当別小学校跡を活用すること。
- 2 現在、当別小学校は地域の指定緊急避難所、指定避難所であるが、引きつづき地域住民の安全を確保する公共の場として確保すること。
- 3 町民の「足」を確保するため「ふれあいバス」の重要度は高まるばかりである。その「拠点ターミナル（バスセンター）」として学校跡敷地を活用すること。



職 長	事務局長	事務局長	係長・主査	係
[Redacted]				

令和4年2月8日

当別町議会議長 高谷 茂 様

2月8日15時20分
対応者 事務局
[Redacted]

当別町新庁舎に関する陳情書

陳情者 太美地域活性化プロジェクト

<コアメンバー、発起人>

住所 当別町太美町

氏名 岡田 隆範

太美西町内会副会長 当別町観光協会監事 他

<コアメンバー>

住所 当別町太美町

氏名 石田 洋三

西当別連絡協議会会長 太美北町内会長 他

<コアメンバー>

住所 当別町太美町

氏名 大塚 初雄

太美東町内会副会長 当別神社総代 他

陳情趣旨

当別町の現庁舎に関し、老朽化対策、耐震対策、将来展望などの観点から、建て替えの必要性について、当別町議会で再三取り上げられました。そして、この度の広報とうべつ特集などで新庁舎建設の方向性ととも、素晴らしい基本理念、基本方針が示されました。今後は、これらの方針を踏襲した客観的な検討が期待されます。

一方、後藤正洋町長は広報とうべつの町長就任挨拶などでクオリティ・ファーストの視点による町の潜在能力や優位性を見極めた「新たな仕組みづくり」を提唱されております。

そして、本プロジェクトは発足当初から持続可能な当別町の形成を指向しており、新庁舎建設はこれを促進するうえで、千載一遇の好機と位置づけています。

そこで、当別町の一大事業となる新庁舎建設の検討にあたり、これらの方針、提唱、志向などを促進する戦略として、「既成概念にとらわれない新たな仕組みづくり」の観点から、下記事項を陳情します。

陳情事項

- 1 新庁舎建設場所の候補地として、優位性を備えた太美市街地の都市機能誘導区域を追加  
 <太美市街地の優位性とは>  
 道都札幌に隣接、ロイズタウン駅の開設、新興団地の造成、人口伸び率などの将来性・
- 2 新庁舎設立に伴う役割として、本来の行政機能に加え、町民コミュニティ拠点機能の装備  
 <町民コミュニティ拠点機能のイメージ>  
 専任担当部署による町民活動を含む各種団体、同好会などの支援体制  
 全町民が気楽に利活用可能な町民交流スペース、廉価なカフェ店などの装備

